

# 診断薬業界に求められる 生き残るための事業・製品戦略

～製品や技術、事業モデルの国内と海外の違いとは？世界をリードする企業となるためには？～

◆日時：2019年12月24日（火） 12:30～16:00

◆会場：江東区文化センター 4F 第3研修室

◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円（税込）**

・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で49,500円（税込））**

※学生のご参加は、1名につき受講料11,000円（税込）です。

（ただし、企業に籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。）

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

### ●講師：(株)SpectroDecypher 代表取締役 中岡 茂氏

<p>《専門》 体外診断用医薬品の事業・製品開発</p> <p>《略歴》 1987年3月 山口大学 理学研究科 生物学 修了 1987年4月 ダイナボット(株) 現アボットジャパン 入社 2003年8月 富士レビオ(株) 入社 主席研究員 2017年8月 TRSS(株) 入社 シニアアドバイザー 2018年10月 (株)SpectroDecypher 設立 代表取締役</p> <p>《活動等》 法政大学の起業家養成プログラム 受講(2014年) ビジネスモデルイノベーション協会 設立コメンター(2015年)</p>	<p>《講演の趣旨》 停滞している国内診断薬業界、一方世界的には引き続き拡大基調にある。しかし、世界を席巻する診断薬メーカーのほとんどは海外に本社を持つグローバル企業である。他の業種と比べると異例ともいえるスイッチングコストと法規制に守られてきた国内市場。そこで生きながらえてきた内資系企業の診断薬事業に未来はあるのか。これまでを振り返り、国内と海外における事業・製品戦略の将来を展望する。</p> <p>《習得できる知識》 ・ビジネスモデルを通して診断薬業界を理解する ・製品や技術、事業モデルについて国内と海外の違いを理解する ・事業化が失敗するポイントと成功する方法を理解する ・これからの診断薬開発の選択肢を理解する</p>
<p>《プログラム》</p> <p>1. 診断薬の事業・製品戦略の課題</p> <p>1-1. 診断薬の世界的トレンド</p> <p>1-1-1. 疾患領域 1-1-2. 技術領域 1-1-3. 開発拠点</p> <p>1-2. 外資と内資の埋めがたい戦略ギャップ</p> <p>1-2-1. 世界の有力5社が作る診断薬業界 1-2-2. 国内3社の戦い方 1-2-3. 各社のビジネスモデルが事業の成否を分ける</p> <p>2. 課題の解決方法</p> <p>2-1. ビジネスモデルの構築(様々な切り口)</p> <p>2-1-1. 診断薬単独事業 2-1-2. 治療薬+診断薬事業 2-1-3. 医療機器+診断薬事業 2-1-4. 医療事業vs. 予防事業 2-1-5. 医療機関顧客vs. 一般顧客vs. 保険者顧客</p> <p>2-2. 新規事業・新製品の探索</p> <p>2-2-1. ビジネスモデルからの探索 2-2-2. 顧客価値からの探索 2-2-3. 期待される領域と求められる技術</p>	<p>2-3. ビジネスモデルに合わせた組織構築</p> <p>2-3-1. グローバル診断薬企業 2-3-2. 国内大手診断薬企業 2-3-3. ベンチャー企業 2-3-4. 異業種企業の新規事業部</p> <p>3. 世界をリードするために、生き残るために</p> <p>3-1. 国内の8割以上の診断薬企業は生き残れない</p> <p>3-1-1. これから生き残る国内企業10社 3-1-2. これから成長するベンチャー3社</p> <p>3-2. 生き残るために必要なこと</p> <p>3-2-1. 事業開発ツール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスモデル・キャンパス</li> <li>・バリュー・プロポジション・キャンパス</li> <li>・FORTHメソッド</li> <li>・リーンロンチパッド</li> </ul> <p>4. 言うは易く行うは難し、どうすればいいか</p> <p>4-1. 事業・製品開発ができない会社の特徴 4-2. 経営者を見極める 4-3. オープンイノベーションは上手いかわからない 4-4. アライアンスは組み方次第</p> <p>5. 診断薬業界の未来展望</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答・名刺交換】</p>

### 『診断薬事業化』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール  郵送

#### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>